

ISAK 初の卒業生を輩出

2017.6.12

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(ISAK)

代表者名 代表理事 小林 りん 校長 ロデリック・ジェミソン

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(以下 ISAK(アイザック))は、2017年6月11日、初めての卒業式を執り行いました。第1期生の生徒たちは、ISAKで過ごした3年間の経験を経て、それぞれの未来への想いと希望を胸に清々しく旅立っていきましました。改めまして、ここまでの歩みを共に見守って下さった皆様に心から感謝申し上げます。

約6年という設立準備期間を経て開校し、一期生52人のチェンジメーカーの卵たちを受け入れた2014年8月から3年。この21カ国出身の生徒たちは、「アジアそして世界のために、新たなフロンティアを創り出す」というISAKのミッションを大切にしながら、私たちと共に学校を創ってきました。

7割の生徒に奨学金を支給することにより、国籍だけでなく、社会経済的にも様々なバックグラウンドから集った生徒たちは、3年間の全寮生活を通して「多様性を活かす力」、「問いを立てる力」、「困難に挑む力」を身につけました。寮内で価値観の異なる仲間と共同生活を営むことで、あるいは社会の課題を自ら見つけ多様な視点を生かしながら解決に挑む経験を重ねたことで、自ら創造的に考え、行動を起こすことへの自信を得たことでしょう。

ISAKで身につけたリーダーシップ・スキルを生かし、第1期生たちが将来分野や立場を問わず世界を舞台に変革を起こせるようなチェンジメーカーとなることを期待しています。

第1期生の声

Dylan (フィリピン出身)

ISAK サマースクールでパレスチナから来たタリックくんとの出会いが印象的で、自分と置かれている環境のあまりの違いに衝撃を受けました。人生を変える経験でした。それをきっかけに ISAK へ入学しましたが、仲間と3食を共にする時間や、ルームメイトとの会話の中に数々の新しい発見があり、世界をより多面的に面白く観察できるようになりました。他を知ることで、更に母国フィリピンのことも好きになり、自分のアイデンティティが強くなりました。

ISAKでの生活では、仲間と共にプログラミングに打ち込み、数学のオンライン教科書をつくりました。卒業後も、ISAKの仲間とプロジェクトを立ち上げたいと思います。困難な状況でもチャレンジし続ける精神を忘れずに、将来はフィリピンに戻り、貧富の差からくる教育問題を解決したいです。

Quynh Trang (ベトナム出身)

ベトナムの学校では、先生と話す機会や、オープンディスカッション出来る環境があまりなく、クラスの中で発言する機会も与えられないことが多かったです。ISAK は、お互いを批判せず、一人一人異なる表現方法で意見したり、自分らしくいることが許容される環境がとても心地よく、自信につながりました。

また ISAK のクラスは仲間と協働する機会が多く、異なるバックグラウンドを持つ仲間同士で意見をぶつけ合うことも珍しくありませんでした。お互いに共有できる価値観を見つけ、すり合わせながらゴールを見据えることがとても楽しかったです。卒業後は 1、2 年間のギャップイヤーを取り実社会の中で自分が何を学ぶべきかを明確にさせた上で、数年後に大学に進学したいと思います。

Yuichiro (日本出身)

一期生として、学校を 0 から創り上げることがとても楽しかったです。

ISAK は生徒の自主性を重んじて、何でもチャレンジできる環境があります。高校生だからといって制限を設けられることはなく、むしろもっと上を目指すように後押ししてくれました。クラスの中では、なぜ自分は学んでいるのかと問われ続け意味を持って教えてくれる先生が多くいました。将来は起業家になり、日本と世界をつなげることをしたいです。記憶したものをアウトプットするのは、AI やパソコンにもできます。そのツールをどう最大限に活用できるかが、AI にできない人間に求められることで、その能力を ISAK で鍛えることができました。そんな今、将来は何にでもなれる気がします！

大学進路・合格大学

自分の興味・関心事をより深めてから大学に進学するために、ギャップイヤーを取る生徒が 6 名います。大学に進学する生徒の進学先は多様性に溢れており、米国、英国、日本、欧州、中東、アジアと多岐に渡ります。米国ではアイビー・リーグ(ブラウン大学・タフツ大学)や、小規模のリベラルアーツで有名なリトル・アイビー・リーグ(ミドルベリー大学)、ノーベル賞受賞者を多数輩出する事で知られるサウス・アイビー・リーグ(ヴァンダビル大学)、最難関女子大学(スミス大学)など。米国以外の大学(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(注)、ニューヨーク大学アブダビ校、イェール大学シンガポール校、トロント大学などに合格)や、日本国内の大学(早稲田大学、慶應義塾大学、大阪大学、ICU、立命館アジア太平洋大学などに合格)へ進学を希望する生徒も多く、生徒一人一人が目的意識を持って個性あふれる道を切り拓いていきます。

(注) イギリスの入試制度上、国際バカロレア(IB)のスコアが判明する 7 月に入試結果が最終決定します。

お問い合わせ先

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(ISAK)

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 電話番号: 0267(46)8623

Email: press@isak.jp 公式ウェブサイト: <https://isak.jp>

公式 Facebook ページ: <http://www.facebook.com/ISAK.jp>